

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより



第1号
平成26年8月発行

清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部環境生活政策課
地域コミュニティ室
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市藪田南2-1-1 (県庁6階)
電話 058-272-8199

センターだより 発行にあたって

ぎふ地域の絆づくり支援センターは、県民の皆さんが地域とのつながりを持ち、地域の絆をはぐくみ、誰もが安全に安心して暮らせる地域コミュニティを築いていくため、地域住民が互いに支え合う活動を推進し支援する拠点として、今年4月に開設しました。モデル事業の普及、地域を担う人材の育成、専門家・アドバイザーの派遣や視察交流などを通じて地域課題の解決を広域的・専門的にサポートしています。

このセンターだよりでは、先進的な活動団体の紹介や、地域活動に役立つ情報を発信していきます。

ぎふ地域の絆づくり支援センター

あくた み ひがし

① 岐阜市芥見東自治会連合会

所在地：芥見東公民館
(〒501-3127 岐阜市大洞桜台1丁目26-2)
代表者：多田 喜代則 会員数：2,338世帯

地区の概要

岐阜市の北東部に位置し、昭和40年代に岐阜市が開発したマンモス団地。自治会が55あり、12の支部に分かれ、自治会連合会がそれらをまとめる。団塊の世代が定年退職し、その二世世代は当地区を離れて生活。今後の少子・高齢化社会を見据え、自分たちの地域を自分たちの手で、安全で安心な魅力ある町にしようと様々な事業を立ち上げ、日々精力的に活動している。

主な特色

●みどりっこバスの運行

高齢化が進む団地において、通院・買い物などの足となるコミュニティバス。「みどりっこちゃん」という芥見地区オリジナルのキャラクターをつくり、バスの名前につけている。行き先案内や、乗り降りの手伝いなど、ボランティア（夏休みなどは中学生も参加）によるみどりっこヘルパーが困っている人をサポート。



みどりっこバスとみどりっこちゃん

●「自治会だより」（独自の広報誌）の発行

地域の住民に開かれたガラス張りの自治会とするため、自治会からの情報発信だけでなく、地域住民のみなさんの意見も積極的に募集して掲載し発信する“双方向の広報誌”を毎月発行。編集・印刷まですべて自治会スタッフが手作りして全戸配布。自治会がオリジナルで作成しているホームページにも掲載。

●見守り愛チーム

向こう三軒両隣の精神で、班を基にした5～6名の見守りチームを編成。平常時から、異常がないか見守り合い・命のバトン配布。異常があればリーダーへ、リーダーは自治会長・民生委員等に連絡。

災害など緊急時には、自分の安全を確保後、チームメンバーを互いに安全確認し、リーダーに報告または支援要請を行う。命のバトンを必要に応じて、自治会長及び民生委員が開封して対応。防災訓練時には、見守り愛チームごとに輪になって、情報交換と意識合わせを行う。



里山活動

●その他（里山づくり、環境美化、防災訓練、小さな手助け活動、文化事業などなど）

たくさんの住民参加を得て、多様な活動に精力的に取り組んでいる。

ポイント キャラクターみどりっこちゃんをシンボルに、地域への愛着が繋ぐ住民の絆

役員スタッフ間の雰囲気非常に良く、和気あいあいとして活動している。地域の愛らしいキャラクターがシンボルとなり、住民の間に地域への愛着が広がっている。広報誌や見守り愛活動を通じて、住民同士のつながり・絆を強め、それが活動の活性化につながっている。

今後の展望

団塊の世代が退職を迎えている状況から、団地に住む、豊富な知識経験を有する人材に自治会活動に参加してもらい、活動の充実を図っていききたい。（キャラクターの缶バッジ・携帯ストラップ・テーマソングなども、地域の方が職業において培った知識経験を活かして製作。）

ハンドメイドマーケットや文化事業など新たな活動にも積極的に取り組んでいきたい。